



時は金なり (Time is money.)

「時は金なり(Time is money.)」

辞書などでその意味を確認すると、「時は貴重であるからむだに過ごしてはならない。」や「時間はお金と同様に大切」とあります。

これは、「時間」というものは決して目に見えたり、感覚的に響くものではありませんが、「お金と同じくらい価値がある」ということをストレートに表現していることわざであり、時間はお金と同等に意味のあるものだから、無駄にしないようにという戒めや教えを表す広い意味もあり、時間を浪費することの矛盾さと、有効に時間を使うことの大切さを問う表現とも言えるでしょう。「時間はできるだけ有意義に使うようにし、何もせず無駄に過ごすことのないようにしよう」というのが全体的な意味合いとなるでしょう。

「時は金なり」の言葉の由来は、アメリカ合衆国のベンジャミン・フランクリンという政治家が、労働者として一日10シリングを稼いでいた頃、一日の半分は汗水流して働くも、残りの半分は何もせず過ごしていたことから、「これでは、10シリングの半分での5シリング分しかもらう価値がない。残りの5シリングは捨てるか無駄遣いをしているかに等しい」と語ったのが「Time is money」の原点だと彼の自伝に記されているようです。また、「フランクリンの13の徳」の6番目「Industry＝勤勉」で、「時間を浪費するのは周囲のせいではない、常に自分が選択している。自らが利益になるための行動をおこせ。」と示している彼の考えを知ることができます。

夏休みは、7月20日～8月28日の40日間です。時間に直すと、24時間×40日＝960時間です。

1日の睡眠時間を仮に8時間と設定した場合、8時間×40日＝320時間を引いた640時間が、何にどれだけ時間を使うか自分で考えて決めなければならない時間ということになります。授業がある日は、その時間が短く、思ったように使えていないことが多いのではないのでしょうか。言い換えれば、その時間のほとんどが学校に関わる時間(例えば、予習や宿題をする時間など)として使われているのではないのでしょうか。もちろん、この時間が有意義ではないというわけではありません。将来のための基礎基本を身に付けるためにとても大事な時間です。

夏休みは、その時間も含めて、640時間を何にどれだけ時間を使うか自分で考えて決めることができます。時間をできるだけ有意義に使うようにし、何もせず無駄に過ごすことのないようにするかは、自己責任です。夏休みの計画を立てて夏休みをスタートさせたいと思いますが、時間を無駄にしないためにも必要に応じて計画を変更していくことも必要です。

そして、「充実した時間の使い方ができて、とてもいい夏休みだった。」とふり返り、自信をもって2学期をスタートできることを期待しています。

◆保護者の皆様へのお願い◆

時間を有意義に使う中には、家族との時間もあります。日頃からお子様との時間を大切にしていると思いますが、夏休み中は日常とは違う見方ができます。是非、お子様と一緒に時間の使い方を考えていただけると幸いです。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

加賀地区大会の結果

入賞、おめでとうございます

- 【2 位】 水泳〈女子〉200m自由形 喜多王 玲衣【県体出場】
- 【3 位】 男子ソフトテニス〈団体〉・〈個人〉 田村海慳・中川天馬【県体出場】
女子バドミントン〈団体 B1〉
女子卓球 〈団体 B〉
水泳〈女子〉400m自由形 喜多王 玲衣【県体出場】
- 【入 賞】 男子バスケットボール ベスト8【県体出場】
男子バレーボール ベスト8
男子ソフトテニス 〈個人〉久保偉楓・安田 權【県体出場】
女子バドミントン 〈団体 A〉ベスト8【県体出場】
女子ソフトテニス 〈団体〉ベスト8【県体出場】
〈個人〉下村莉奈・寺山凜子【県体出場】
男子卓球 〈個人〉出口照尚、柳谷智志【県体出場】
女子卓球 〈団体 A〉ベスト8【県体出場】
〈個人〉柴野倅乃、春木美怜、松浦 椿、吉田莓々乃【県体出場】